

熊本子ども囲碁便り

50
2016.02.20

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

HP: <http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>



電話: 096-382-0174

メール: kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp

第17回 熊本子ども囲碁交流大会

1月17日(日) ウェルパ熊本大会議室において平成28年最初の囲碁交流大会を開催しました。162名の参加があり、今年も囲碁の広がりを感じさせる大会となりました。(次回は4月17日)



全勝者は下記の通り

19路盤の部

水谷勇斗(真和中1年)	木下智弘(人吉西瀬小5年)	福田航平(人吉東小5年)
本田祥太朗(西原小6年)	大塚裕貴(錦ヶ丘中1年)	上野隼太郎(広安西小5年)
畑岡真菜(長嶺小6年)	鋤農葉月(出水南小3年)	有屋田隼(東町小3年)
西田智哉(杉上小6年)	西田憲史(杉上小3年)	中野結菜(託麻南小3年)
宮本将伍(尾ノ上小2年)	田代葵唯(帯山小2年)	富永悠太郎(熊大附属小2年)
米田千爽(人吉幼稚園)	後藤優空(佐土原)	

13路盤の部

内田 光(熊大附属小1年)

夏目漱石に読む囲碁

いつの頃に覚えたかは定かではないが、大学時代は遊びで麻雀もしたが、碁も打った。一、二年生の時は授業に追われていたが、三年生になると随分と授業が少なくなりバレーボール部の部室に行くと、約束したかのように友達も早く来ていてよく碁を打ったものだった。下宿では、私の紹介で一年の時に同じ寮で生活していた友人が隣の家に引っ越してきて、彼も碁が好きで、休みの日には、お金もないので、一日中、碁を打っていた。どちらかが白を持つ事もないザル碁で、上達もなかった。熊本に帰ってきたら、仕事に追われて碁など打つ友人も無く、もう四十年も碁盤の前に座った事がない。

学生時代は、そういった具合だったので、川端康成の「名人」の作品もその時読んだ。碁の小説では、この作品以外は知らない。同じ時期に読んだ夏目漱石の「吾輩は猫である」にも碁を打つ場面があった様な記憶があり、改めて本を開いてみた。私と同じような場面が、あった、あった。

これを紹介しておこう。

「どうするも、こうするもない。一剣天に倚って、寒し、

ええ、めんどうだ。思い切って、切ってしまえ」

「やや、たいへんたいへん、そこを切られちゃ死んでしまう。

おい冗談じゃない。ちょっと待った」

「それだから、さっきから言わん事じゃない。こうなってる

ところへは、はいれるものじゃないんだ」

「はいって失敬仕り候。ちょっとこの白を取ってくれたまえ」

「それも待つのかい」

「ついでにその隣のも引き揚げてもくれたまえ」

「ずうずうしいぜ、おい」

「『吾輩は猫である』の小説のなかに私の曾祖父が登場しているよ」と、直木賞作家の出久根達郎先生からお手紙を頂いた。

「静岡に生きていますがね、それがただ生きているんじゃないです。頭にちょん髷を頂いて生きてるんだから恐縮しまさあ……」の静岡の叔父さんというのは、初代の河島又次郎がモデルだとの事。又次郎は死ぬまで髷を切らなかったのが「河島ヤンマ」と呼ばれていたらしい。本も漱石先生から沢山買ってもらって、現在東北大学図書館に保存されている。おっと、駄目を踏んでしまった。

河島一夫

(有) 舒文堂河島書店 代表取締役・ 上通商栄会会長



熊本子ども囲碁便り御中

熊本子ども囲碁便り発刊 50 号を記念して心よりお慶び申し上げます。2012 年 1 月発刊以来、今日までご尽力されてきた事務局の皆様へ心から感謝申し上げます。私が知る限り、このように毎月、囲碁便りを発刊している普及団体はないのではないかと思います。各囲碁教室の先生方や生徒さん達の奮闘ぶり、活躍の様子が大変よく分かり、毎回楽しみに拝見しています。私自身も過去に 8 回程、寄稿させて戴き、大変いい思い出になりました。役員の皆様始めとして各教室の先生方のご尽力、また法人・個人の会員の皆様のご協力や保護者の皆様のご理

解、ご協力の御陰で囲碁普及に関する理解も年々深まりつつあり、学校などで囲碁が取り入れられるなどされ、大変嬉しく思います。各教室の先生方のお話を聞くと囲碁の上達は勿論ですが、非常に落ち着きが出てきた、協調性が出てきた、率先して片付けをやるようになった、集中力が身に付いた、学業が上がった等々の話を耳にします。囲碁を通して成長している子供達が大変頼もしく思われます。改めて先生方のご指導に対して敬意を表し、熊本子ども囲碁普及会の益々のご発展と関係者皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

NPO法人熊本子ども囲碁普及会 監事 後藤 渉

「ゆうちょ囲碁体験教室」



親子による囲碁体験教室が、1月31日（日）開催されました。講師は、入門指導の達人 水間プロです。当日どれくらい参加してくれるか不安もありましたが、定員を越える参加者があり、嬉しい悲鳴でした。

ルールの説明の後に、早速対局開始です。何でもそうですが、興味を持たせる、好きにさせる為には「楽しい」「面白い」「新しい発見がある」この三要素を上手に伝えることです。親子で楽しくニコニコしながら打っています。あちこちで「馬さん石が取れたよ」と歓声が上がっています。

あっという間に2時間が過ぎました。保護者からは、こんな楽しいものとは思わなかった、親子でコミュニケーションがとれた、これからも続けられそう等の感想をいただきました。（記 江藤）

第4回 “にんじんの里” 交流囲碁大会

2月14日（日）菊陽杉並木公園管理センターで開催されました。この大会では囲碁を愛する老若男女が一堂に会し交流を深めること、囲碁による子供たちの健全な育成をねらいとしています。

参加者は菊陽町、熊本市、大津町、阿蘇郡、合志市などから上は80余歳、下は保育園児までの3世代、60余名が集いました。

大会は午前中団体戦、午後個人戦が行われ、子供たちの参加も増えて、生憎の寒空を熱気で吹き飛ばすように盛り上がりました。

大会終了後は、協賛の菊陽町交流ターミナル“さんさんの湯”提供のにんじんをはじめとする新鮮野菜が賞品として入賞者のほか、参加者全員に贈られました。

また、今回大会にはNPO法人熊本子ども囲碁普及会からバックアップを頂き大会を成功裏に終了できましたことを紙面を借りてお礼を申し上げます。

菊陽町囲碁振興会事務局 西嶋 巖

大会成績は下記の通り（子ども関係のみ）

団体戦Bパート 2位 須藤大喜 ・ 廣末直大 ・ 佐々木悠（熊本母と子の囲碁教室）

個人戦Aパート 3位 高橋慶多（菊陽中部小6年）

B 1 パート	1 位	廣末直大（託麻原小 5 年）
	3 位	須藤大喜（城東小 2 年）
C 2 パート	1 位	佐々木悠（高平台小 4 年）
D 1 パート	1 位	上村愉唯（託麻原小 3 年）
	2 位	西 真幸（砂取小 5 年）
	3 位	斉藤瑞月（画図小 5 年）
D 2 パート	1 位	栗山莉一（砂取小 2 年）
	2 位	高木丈翔（画図小 3 年）
	3 位	樺島慧人（画図小 3 年）



3 年目を迎える「学童保育における囲碁普及事業」

2 年間の経験をもとに更に充実させます！

熊本子ども囲碁普及会の目玉事業としてスタートした「学童保育での囲碁普及モデル事業」がこの 3 月で満 2 年となります。

県内 10 小学校でスタートした事業でしたが現在では 6 校となっています。

そこで、3 年目を迎えるにあたって、これまでの反省点や指導経験の交流・研修のための「育成クラブ囲碁指導者の集い」が去る 2 月 18 日（木）に、託麻囲碁クラブで開かれました。

当日は 5 小学校での指導者など 11 人が参加し、現場における現状や問題点、来年度に向けての提案など、活発な意見交換が行われました。

- ・ 約 20 名の生徒だがまだ 13 路盤。クラブ側の先生の 1 人がずっと生徒と一諸に囲碁を学ばれている（菊陽西小）
- ・ 昨年 2 学期から 3 年生だけを対象にして行っているが、囲碁以外の生徒も一諸の部屋で騒々しく、落ち着いて囲碁に集中できない（桜木小）
- ・ 40 名を越え、碁盤を追加してもらった。1 年生と 2・3 年生の 2 グループに分けて 3 人ずつの指導員でやっている。1 月末に初めてクラブ内で囲碁大会を開き、100 円ショップのメダルでも大好評だった（広安小）
- ・ 学童保育の全員（60～70 名）を対象に 1 年生と 2・3 年生グループに分けて隔週で行っている。復習と、新しく学ぶこと、そして対局と、毎回 3 段階で教えている（45 分間）。始める前に熊本の妖怪の話をして子どもを引きつけている（向山小）
- ・ 囲碁を習っている途中で外へ出て行ったり、途中で入って来る子もいて、正式に何人習っているのかも確定できない状況だ（尾ノ上小）
- ・ 3 年生（16 名）だけを対象に別室で教えている。せっかく覚えた子も 4 年生になったら来なくなるのももったいなく、囲碁のクラブ活動が出来ないものかと思うが、学校側は消極的だ（託麻原小）

等々の意見が出され、お互いに質疑を重ねました。

最後に、囲碁普及会としても 2 年間やってみた上での反省点として「学童保育における囲碁教室の位置付けについて、学校・クラブ側と事前にもっと十分に話し合って認識を一致させておく必要があった」こと等をあげ、新年度へ向けて更に頑張ることを全員で確認しました。

NPO 法人熊本子ども囲碁普及会

副理事長 渡辺利男

「初めての囲碁大会に喜ぶ豆棋士達！」

益城町立広安小の学童保育囲碁クラブは、活動を開始してから丸2年目を迎えようとしています。新入組のAグループ(1年生が主体)と先輩組Bグループ(3年生が主体)とに別れて活動していて、各々に3名の指導員による指導を行っています。

指導員の話に注目させ、静かに対局することを目指していますが、現状は、なかなかの感があり、指導員のボヤキが続いています。それでも、生徒たちと囲碁を通して楽しい時間を過ごすことはできていると思っています。

昨年の暮れに、Bグループの生徒から囲碁大会を開いてほしいとの声が出ていたこともあり、1月13日に9路盤によるトーナメントを開催しました。時間が45分しかないため、決勝戦は1月27日となりました。金、銀、銅賞のメダルを準備したこともあり、大会は大変盛り上がりました。大会中は指導員の注意をよく聞いていたことも新発見でした。

大会入賞者は次のとおりでした。

優勝 田口みろく 準優勝 松本わかば
3位 小柳りな 富田こうたろう

(広安小学童保育囲碁指導員 藤堂)

☆ 当法人の学童囲碁教室には連合・愛のカンパの支援を受けています。 ☆

《大会結果》

※2月7日(日)福岡県太宰府市大宰府天満宮において「子ども囲碁天満宮大会」が開催されました。

囲碁に親しんだとされる菅原道真の元で子どもたちに囲碁を楽しんでほしいと開催されているものです。

主に福岡県内より130名の小中学生が参加、白熱した試合が行われました。

小学生の部で熊本から出場した前田悠仁くん(杉上小6年)が優勝しました。(写真左から2番目)



※2月11日(祝、木)長崎県総合福祉センターにて「第24回長崎ジュニア囲碁大会」が開催されました。県外を含め146名の参加。

選手権戦の部で前田悠仁君(杉上小6年)が4位入賞。上位3人は高校生が占めました。

また、ジュニア本因坊戦の部で水谷勇斗君(真和中1年)が敢闘賞を受賞しました。

主旨に賛同いただき、賛助会員として継続を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

法人会員

井筒屋化学産業（株）・ 熊本電気鉄道（株）・ 日本郵政グループ労働組合九州地方本部
ルンビニー幼稚園・ 日本棋院託麻囲碁クラブ支部・ R K Kカルチャーセンター・ （有）草野企画
重光産業（株）・ （株）熊本銀行・ 福田病院・株式会社かんぽ生命保険熊本支店・全労済熊本県本部
ましき耳鼻咽喉科クリニック・日本棋院人吉球磨支部・熊本市内官公庁等囲碁大会事務局
熊本母と子の囲碁教室・（有）エムティエス松本・日の丸産業（株）・（株）三優・連合・広瀬ヴァイオリン
スクール

個人会員

長田幸基・ 宮崎享・ 松本晴子・ 鳥井郁代・ 吉永茂・ 桑原五夫・ 石川至孝・ 岐部英登・ 川口雄一
島田万里・ 田口信夫・ 塚本清・ 風口英利・ 徳尾芳道・ 徳尾幸子・ 藤本和美・ 上野剛彦・奥村拓司
大原照久・ 安川俊文・古家 守・ 新道哲也・ 湯村フク・寺尾敏子・満井浩一・ 下地明友・ 下地君代
田中力男・ 鶴山繁實・ 古賀征生・ 渡辺武・ 加納剛太・ 石塚正司・ 駒崎照雄・ 瀬口良三郎・ 畠中直幸
畠中忠俊・ 江藤 剛・ 松田 敏・ 後藤修一・ 松尾 孝・ 八塚敬子・ 竹屋純子・ 元田美智子・ 蓑田耕太郎
宮川秀樹・ 宮川哲就・ 田坂照夫・ 宮永康男・ 古田 浩・ 江藤 茂・ 江藤由久子・ 西 徳義・ 坂田祇彦・ 岩下 弘
江富佑子・ 芦田 司・ 古庄 剛・ 大島國壮・ 檜 國雄・ 毛利秀士・ 見寄裕一・ 鎌田聡・ 寒野猶富・ 酒井ちはる
板井太志・ 中野昭二・ 宮川隆二・ 坂口信春・ 坂口仁寿・ 川上龍一・ 大森貞夫・ 峰由香・ 坂田敏昭・ 定永道明
安田節爾・ 盛山恒子・ 奥藺惣幸・ 隈部敏・ 岩崎敏江・ 大河内俊子・ 緒方夕佳・ 渡邊 勉・ ジャイルス仁美
須藤悦男 （順不同・敬称略）

各地の教室・・・（アイウエオ順）

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ○ R K Kカルチャーセンター子ども囲碁講座 | （熊本市東区長嶺 096-383-3900） |
| ○ 一 新 こ ど も 囲 碁 教 室 | （熊本市中央区新町 096-352-7639） |
| ○ 尾ノ上コミュニティセンターこども教室 | （熊本市東区尾ノ上 096-340-8731） |
| ○ 上 通 子 ど も 囲 碁 教 室 | （熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005） |
| ○ 熊 本 母 と 子 の 囲 碁 教 室 | （熊本市東区下江津 096-370-2263） |
| ○ さくら通り・蓮台寺 親子囲碁交流会 | （熊本市西区蓮台寺・平成 080-3376-0407） |
| ○ 佐 土 原 子 ど も 教 室 | （熊本市東区佐土原 096-367-1707） |
| ○ 託 麻 囲 碁 ク ラ ブ | （熊本市東区保田窪 096-382-0174） |
| ○ 玉 名 立 願 寺 楽 碁 長 屋 子 ど も 教 室 | （玉名市立願寺 0968-73-9008） |
| ○ 日 本 棋 院 玉 名 支 部 教 室 | （玉名市岩崎 0968-74-4968 ） |
| ○ 日 本 棋 院 人 吉 球 磨 支 部 教 室 | （人吉市城本町 0966-28-3111） |
| ○ ヒ カ ル の 碁 ス ク ー ル 「 阿 蘇 」 | （阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045） |
| ○ 武蔵ヶ丘コミュニティセンター子ども囲碁教室 | （菊池郡菊陽町津久礼 096-232-5697） |
| ○ 松尾東子ども囲碁教室 | （熊本市西区上松尾 096-329-6951） |

編集後記・・・今回50号を発行することができました。毎月囲碁大会情報などを紹介していますが、こうして継続できたのも子ども達が囲碁に
触れる機会が増えているからだと思っています。皆さまの投稿、ご協力、ご支援を今後ともよろしくお願い致します。

（西山）